

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立開平小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	中央区
学 校 名	大阪市立開平小学校
学 校 長 名	岩本 由紀

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立開平小学校では、第6学年 73名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立開平小学校の結果概要

国語、算数ともに大阪市平均・全国平均を上回る結果となっている。平均正答率で、全国平均と比べ国語で6ポイント、算数で13ポイント上回っている。平均無回答率は、国語、算数とも全国平均よりも低く、最後までしっかり考え、回答しようとしていることが分かる。

児童質問紙については、自己有用感に関する項目はいずれも肯定的回答率が高い。各教科に関する項目についても肯定的回答が多く、自ら学び方を考え、友達との意見交流を通して、より考えを深め意欲的に学習に取り組む児童の姿が顕著にあらわれた結果となっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

すべての評価領域において、全国・大阪府の平均を上回る結果となったが、話すこと・聞くこと領域（68.5%）／読むこと領域（71.5%）に比べて、書くこと領域（53.5%）が15～18ポイント低い。選択式の漢字問題や、比喩や反復などの表現の工夫や文章の特徴を捉える等、知識・技能を問う問題の正答率は、全国・大阪府の平均より高い。

しかし自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題や、記述式の問題等、思考・判断・表現を問う問題の正答率が、知識・技能を問う問題に比べて正答率が大きく下回った。画数の多い漢字を書く問題や、自分の考えが相手に伝わるように工夫して書くことに課題が見られる。さらに記述の条件が増えると、正答率が大きく下がる結果となった。

読んで考えたことを自分の経験と結び付けて書く問題では、校内正答率80.6%と高い一方で、無回答率も12.5%と高い結果になった。記述の条件もあったが、本文から読み取った内容と自分の経験を合わせて書く問題だったので、解答できていれば正答となる問題であった。時間が足りず、最後までたどり着けなかった児童も多く、無回答率のポイントが高くなったのではないかと考えられる。

【算数】

すべての評価領域において、全国・大阪府の平均を上回る結果となった。特に、「数と計算」領域の分数の比較と理由の記述の問題では、正答率が61.6%（全国40.1%）と、21.5ポイント高い結果となった。単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができるかどうかをみる問題では、88.7%（全国68.1%）と19.6ポイント高い結果であった。二次元表から「前半にあやとりに参加し、後半はかるたに参加する人数」などの複数条件を読み取る問題は、最も難しい問題であったが、正答率が35.6%（全国17.9%）と17.7ポイント高い結果となった。

このことから、数や割合の本質を理解できていることや、複雑な表・資料など、複数の条件を整理しながら正解を導く情報処理能力が身につけていることが分かる。また、記述問題や複雑なグラフの読み取りであっても無回答率0.0%であり、諦めずに解答を書く姿勢が見られた。

どの項目も平均は上回っている一方で、課題も見られた。記述問題における、比較根拠の言葉足らずや二次元表の読み取りミス、小数の計算で繰り下げ忘れ、体積の捉え方の間違いなどの誤答が目立った。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の最も肯定的な回答の割合が全国より16ポイント高く、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」も肯定的な回答の割合が高いなど、自己有用感の高さが表れている。

国語、算数が好きかを問う項目では、最も肯定的な回答が大阪府や全国の割合から13～14ポイント高く、それぞれの教科における内容の理解や活用に関する項目についても最も肯定的な回答の割合が15～17ポイントも高い。

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の最も肯定的な回答の割合が大阪府や全国より10ポイント高い。また、「人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」の最も肯定的な回答の割合が全国より10ポイント高く、児童が安心して学校生活を送れていることが示されている。そして、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」の最も肯定的な回答の割合が大阪府や全国の約1.5倍以上あり、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の最も肯定的な回答の割合が全国より9ポイント高いことから、児童の心理的安全性の高さが自分の気持ちや意見を安心して表現できることにつながり、これまで学力向上の研究で継続して取り組んできている「自ら学び合い深め合う授業の工夫」を重ねてきた結果であると考えられる。

さらに、ICT機器の活用では、「文章を作成する」「情報を収集する」「情報を整理する」「学校での活動でプレゼンテーションを作成する」のどの項目でも、最も肯定的な回答の割合が全国より8～14ポイントも高く、普段の学習で、ICT機器の活用機会を増やし、スキルを高める取り組みを行ってきた結果であると考えられる。

今後の取組（アクションプラン）

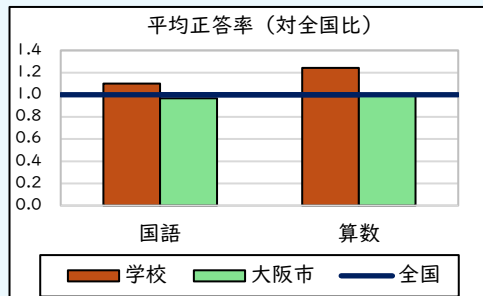
表現力を向上させるために、授業内で積極的にペアワークやグループワークを取り入れ、主体的・対話的で深い学びを重視した授業づくりに継続的に取り組み、友だちと学び合いながら、主体的に学びに向かう子どもの育成に努めていく。

学習者用端末の効果的な活用方法についても模索していく。共同編集が可能なアプリを活用し、グループでアイデアを出し合ったり、意見を整理したりする活動を増やしていく。また、プレゼンテーションソフトを活用し自分の考えを視覚的にわかりやすくまとめ、ICT機器をコミュニケーションや協働のための道具として積極的に取り入れて活用スキルを高めていく。協働的な学びの実現に向けて、端末を使用しグループで意見を共有したり、共同で資料作成したりすることで児童が協力して課題に取り組む力を育てていきたい。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

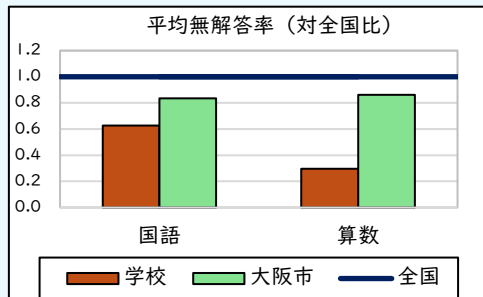
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	67	70
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



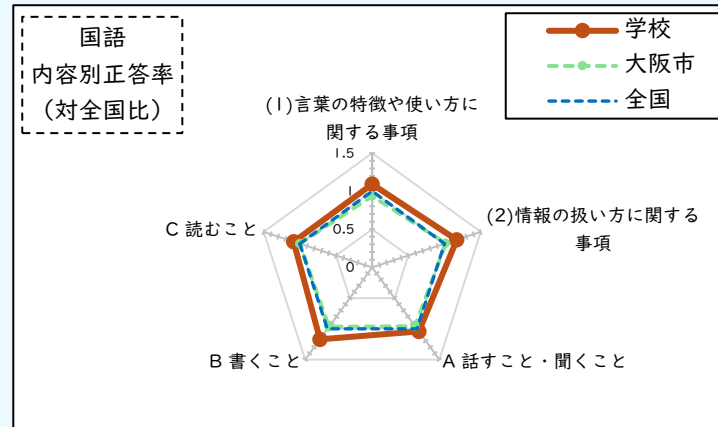
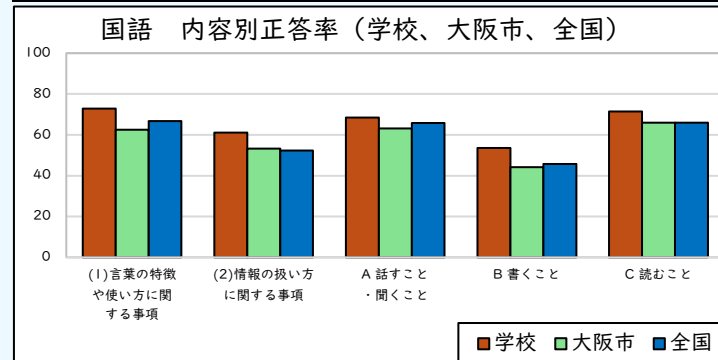
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.1	1.0
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



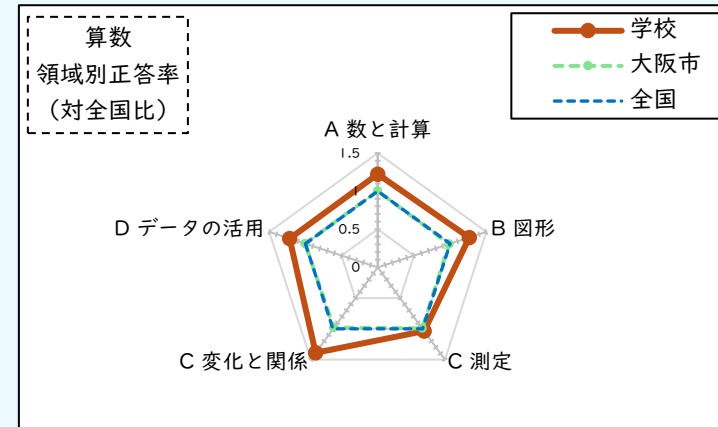
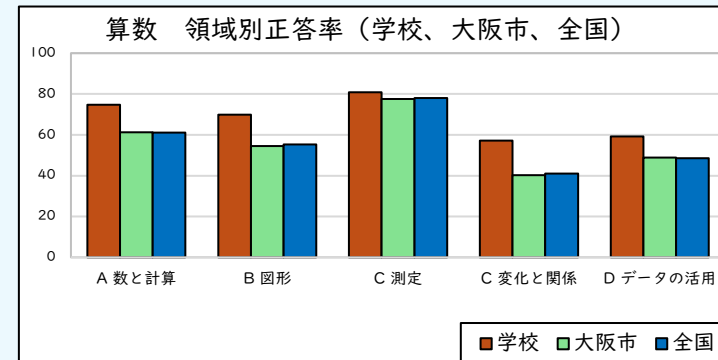
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	72.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	61.1	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	68.5	63.1	65.8
B 書くこと	2	53.5	44.2	45.7
C 読むこと	2	71.5	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	74.8	61.2	61.1
B 図形	4	69.9	54.5	55.3
C 測定	1	80.8	77.5	78.1
C 変化と関係	3	57.1	40.3	41.1
D データの活用	4	59.2	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

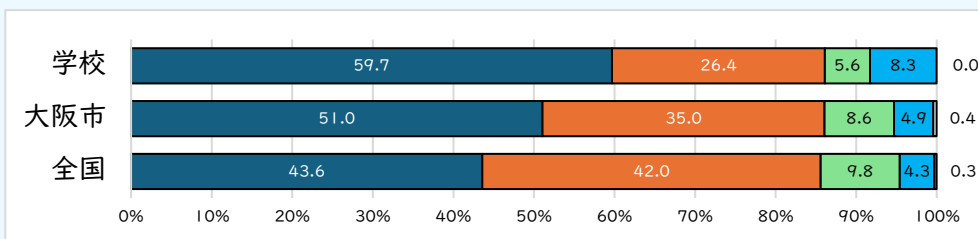
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

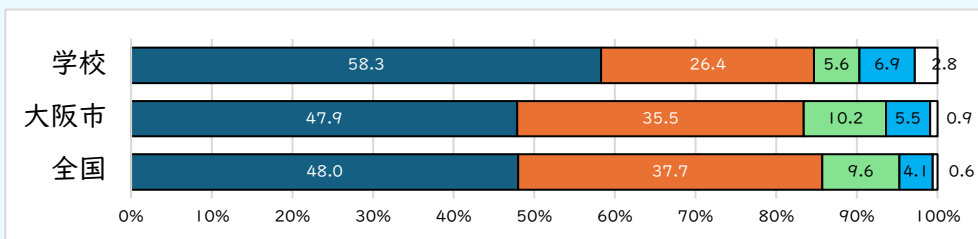
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



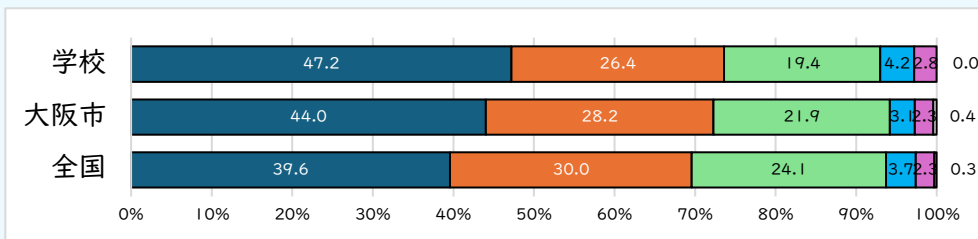
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



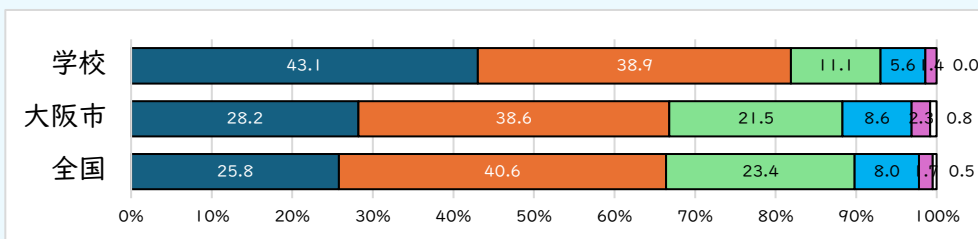
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(20)	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
------	----------------------------------



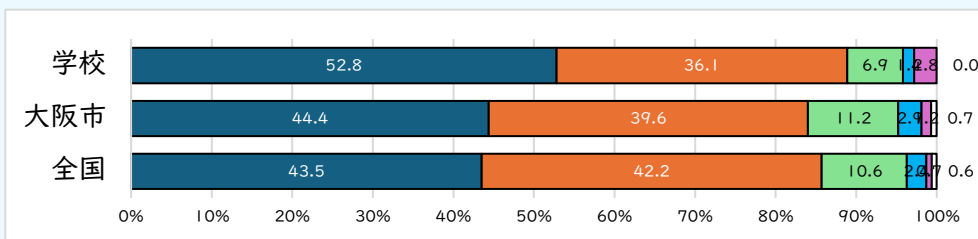
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、当てはまらない
- 5 当てはまらない

(38)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
------	--



- 1 発表していた
- 2 どちらかといえば、発表していた
- 3 どちらかといえば、発表していなかった
- 4 発表していなかった
- 5 考えを発表する機会はなかった

(42)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
------	---



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

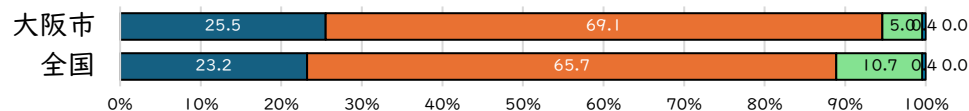
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

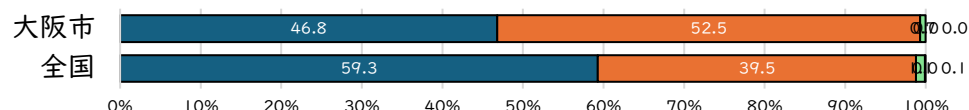


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

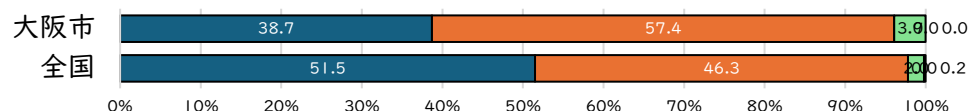


- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった

(18)

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

【学校の回答】 1 よくしている

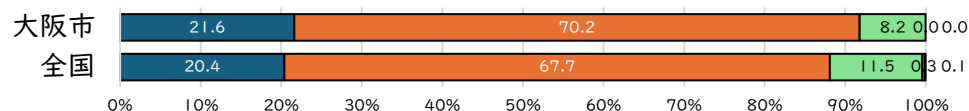


- 1 よくしている
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

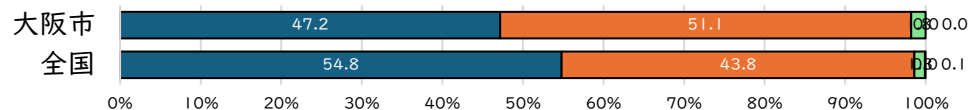


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(69)

ICT機器やインターネットの利活用について、目的や場面に応じた適切な使い方や、利活用にあたってのルールやマナー（長時間利用防止や情報の取扱いも含む）に関する指導を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った



- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった